

第5回高砂市総合計画審議会（全体会）

議事録【要旨】

開催日時	平成22年2月19日（金） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	南庁舎5階大会議室
会長	近藤委員
出席者	近藤委員、谷口委員、田端委員、赤木委員、足立委員、稲田委員 伊保委員、大上委員、喜始委員、北野委員、中野委員、前田委員 松本委員、森本委員、米田委員、石原委員、紙谷委員、坂口委員 砂川委員、辻委員、渡邊委員、宮野委員（代理 米澤）、高岡委員（23名）
欠席者	伊藤委員、柿木委員、國分委員、中井委員、山名委員、山本委員、玉田委員 （7名）
議事	（1）基本構想（素案）について （2）基本計画（素案）について
資料	1. 第4次高砂市総合計画基本構想（素案） 第2版 2. 第4次高砂市総合計画基本計画（素案） 3. 第4次高砂市総合計画基本構想（素案）新旧対照表・・・（資料1） 4. 高砂市の人口動態の推移・・・・・・・・・・・・・・・・（資料2） 5. 第4次高砂市総合計画基本構想(素案)骨子・・・・・・・・（資料3）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>ただいまより第5回高砂市総合計画審議会を開催する。</p>
会長	<p>2. あいさつ</p> <p>皆さん、こんにちは。高砂市総合計画審議会第5回全体会のご案内を申しあげましたところ、大変お忙しいにもかかわらず、ご出席を賜りましてありがとうございます。前回1月22日の全体会では、基本構想（素案）について、まちづくりの基本理念や施策の大綱などについてご意見をちょうだいいたしました。その後、事務局がより具体的な内容である基本計画（素案）をまとめ、事前に皆さんにご送付申し上げているところでございます。基本構想に基づいて基本計画が構成されていますので、両者は密接な関係にあるわけでございます。本日は基本構想（素案）、基本計画（素案）両方併せてご審議いただくという段取りで考えております。皆さま方のご協力のもと、進めて参りたいと思っておりますので、最後までどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
副市長	<p>失礼します。本日、大変お忙しい中、第5回総合計画審議会にご出席いただきましてありがとうございます。皆さま方には、平素から市政の推進にご協力いただいております。本日は、基本計画の素案をご提示させていただきます。基本構想に基づきまして、より具体的な内容をお示しさせていただきます。前回の基本構想（素案）と併せて本日ご審議いただきたいと考えております。また、4月以降には、各分野ごとに分かれての部会審議も予定しております。皆さまと共に、よりよい計画を策定して参りたいと考えておりますので、委員の皆さま方におかれましては、忌憚のない活発なご意見をお願い申し上げます。本日、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>本日の会議は出席23名、欠席7名、審議会条例第5条第3項の規定により過半数が出席しているため、会議が成立していることを報告する。</p> <p>当審議会が高砂市総合計画審議会の運営に関する規定に基づき公開している。本日の傍聴希望者は10名。</p> <p>○配付資料確認</p>
	<p>3. 議 事</p>

	(1) 基本構想（素案）について
会長	議事1. 基本構想（素案）について事務局から説明願う。
事務局	○基本構想（素案）について説明 （前回からの変更点を説明する） ○資料2について説明 （高砂市の人口動態の推移について、前回、資料請求があった）
会長	ただ今の説明について意見、質問等あるか。
委員	この基本構想は、ほぼできあがった状態か。これは参考で、これからもっと縮小していくのか。
事務局	基本理念は、ほぼこの形で進める。基本理念と、基本目標を進めるにあたっての基本計画との整合性を審議いただきたい。基本計画の内容により、基本目標に若干修正が出る可能性はあるが、この形で進め、基本計画もそれに沿って作っていきたいと考えている。
委員	資料2. 人口動態の説明があったのはなぜか。
事務局	施策を進めるにあたり、どの層の人口が減っているか把握することがキーポイントになるという意見が前回寄せられた。資料2のグラフより、子育て世代は増えているが、その前後する世代が減っていることが分かった。それは就業者の出入りが大きいということが考えられる。資料2は、施策を進める目安になるものとして示している。
委員	資料2は質問に対して出された資料であって、計画の中に入れることはないのか。資料3も、詳細な資料だが、この内容も計画に入るか。
事務局	資料2. 人口動態については、今後、部会で検討していただく際の資料として用いてほしい。人口推移は計画に盛り込む。資料3は、基本構想（素案）に示しているものを凝縮してまとめたものである。これはそのままではなく、今、素案として示しているもので出す。
委員	資料3については、市民配付用のコンパクトな資料にも使えるのではないかと考えた。 基本構想、第1章. 計画策定の趣旨に書かれている現在の財政状況に関する文章は非常に断片的である。もっと文学的であってしかるべきである。こうし

	<p>た文章は、本来、その主たる責任者が自分のポリシーを書くのが普通である。単に現状を並べただけの文章ではなく、将来を語る文言として、高砂市の行政、市民のポリシーが伺える文学的文章にしてほしい。</p>
会長	<p>推敲の余地はある。市長のメッセージの次にこの文章が出てくると思う。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>市民、行政ともに、財政状況の改善を一番の問題と感じているだろう。高砂市の現状を踏まえつつ、これから高砂市行政がどう努力をし、市民がどう参画し、協働するかということがにじみ出た文章にするべきである。いまは文章がぶつ切れになっている。再考願う。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
会長	<p>確かに段落が飛び、淡泊な感じがする。情熱を感じられるように書いてほしい。</p> <p>全体の構成としては、前回よりもかなり洗練されたように感じる。最初に、市民参画の基本姿勢を前面に出し、最後に経営視点を入れている。真ん中には、市としてやるべきことが五つ書いてある。総合計画を審議した段階で、再度フィードバックをかけてチェックを入れる作業が残っているが、骨格はできてきている。ほぼスタートできる形になってきた。構成はまだ直せる段階である。</p>
副会長	<p>市の姿勢として参画を出し、その中身を次に上げていくという仕組みは非常に分かりやすい。ただ、例えば3ページの総合計画の枠組みで、分野別計画が総合計画に影響を与えているような図があるが、総合計画は上位計画であるため、これはよくない。中身についても、来年度の計画に合わせながらやるといった、逆転しているような書き方が見られたので修正が必要だ。</p>
会長	<p>修正する。基本構想については以上とする。データ等の入れ方等についても考える。</p> <p>では議事の2番目に入る。事務局より説明願う。</p> <p>(2) 基本計画（素案）について</p>
事務局	<p>○基本計画（素案）について説明 （市全体の総合計画であるため、非常に範囲が広いので項目を絞って説明）</p>
会長	<p>質問、意見はあるか。</p>

委員	<p>総合計画はビジョンであって、未来に向かっての希望にも言及すべきだが、市民病院改革プランの着実な遂行等、今まで実際にあったことだけしか載せていない。これでは夢も希望もない。</p> <p>また、ごみ処理施設等委託業務について、経費節減に努めるという文章があるが、実際は、これから毎年 10 億の費用がかかるといわれている。どのように経費を節減するのか。文章についても、現状と今後の方向性を明示し、一層努力するという点を示さないと、夢も希望もないように感じる。</p> <p>総合計画 3 ページ、計画内容にワークショップ、ファシリテーター、アダプトプログラムの記述があるが、もっと大きな視点でとらえて、事業の見直しと地域の社会資源をどのように協働で進めていくかといった方向性を見据えて出していただきたい。例えば、横浜市は企業を非常にうまく利用して、市民と企業がお互い持ちつ持たれつ共に進めていこうという行政をしている。高砂市も、企業を市民の中に根付かせてそれを使えるようにできないか。その方向性をもう少し具体的に総合計画では出す必要があると考える。</p>
会長	<p>3 点指摘いただいた。事務局から、いまの質問、意見に対して何かあるか。</p>
事務局	<p>大変貴重な意見をいただいた。行財政運営について、あったことしか記述がない、夢も希望もないというご指摘があったが、確かに将来の展望が漏れている。この件に関しては、部会で詳細に審議していただきたい。</p> <p>ごみ焼却施設は 10 億かかるという指摘があったが、包括という記述をし、その中で節減を考えている。詳しい内容については、部会の方で改めてご審議いただきたい。</p> <p>参画と協働について、大きな視点としてとらえるという指摘については、当然、そのように考えていくべきだろうと思う。参画と協働に関しては、地域との連携、役割分担をするという考えもある。それについての具体的な内容についても部会で詳細にご審議いただきたい。</p>
委員	<p>28 ページ、教育について、昨日、教育振興基本計画策定委員会で、幼保ではなく、保幼という順に表記することが決まった。それに合わせてほしい。</p> <p>教育長に質問だが、総合計画で幼保の統合という表現で謳われているが、高砂市の幼児の教育について、そのような表現で謳うのか。もし教育委員会のほうで、異なる表現であるのなら、総合計画と教育振興基本計画表現は統一しなければならないと思うが。</p>
教育長	<p>言葉の並び順については整理しきれていないため、早急に整理する。現在策定中の教育振興基本計画と総合計画第 3 章は整合性を持たせる予定である。</p>

委員	<p>現在、モンスターペアレントへの対応に先生方が苦慮していると聞いた。明石市など他市では、悩めるお母さん方の相談役として、民生委員が月に数回、各学校に待機しているとも聞く。高砂市では、保護者の相談窓口がない。先生は子どもの指導に専念いただき、お母さんの方のくい止め役は、市の後押しを受けながらボランティア等、民間でやるように持っていけないといけない。何か方法があれば、そうした言葉も計画に入れてほしい。</p>
教育長	<p>教員は本当に大変である。高砂市もちろん、全国的に見ても、教員のメンタルヘルスによる病気、休職が非常に多い。そのため、スクールカウンセラーは、子どもに加えて、教員、保護者も必要に応じて相談に乗っている。また、教育振興基本計画でも、教員のメンタルヘルスについて教育相談の充実を図ることを明記している。保護者の考えも多様化している中で、教員の力量アップ、教育委員会の教員のバックアップも推し進めていきたい。</p>
委員	<p>総合計画には明記はしないのか。</p>
事務局	<p>総合計画の中にも明記する。28 ページ、学校の組織力では、学校への期待が大きくなっている中、チームで対応しようという表現をしている。40 ページの、教職員の資質能力に関しても、メンタルヘルスについて謳っている。総合計画は教育振興基本計画の元となる内容のため、おおまかな表現でもよいと考えている。その点については、部会で再度審議していただきたい。</p>
会長	<p>この全体会の機会に、部会にまたがるような話題を出してほしい。個別の部会の問題は、部会で詳細にご議論いただきたい。</p>
委員	<p>基本構想、基本理念 14 ページ、暮らしを支えているものとして衣食住などの6分野が挙げられているが、「働」がない。基本目標にも産業交流都市とあり、産業を重視しているのだから、「働」も入れてほしい。</p>
副会長	<p>ワークライフバランスというように、ワーク、働があって、ライフがある。ライフの中に衣食住遊が入る。理念的なことになるが、暮らしはライフである。</p>
会長	<p>地域再生、地域おこしというときに、市のブランド化が非常に重要である。ブランド化すれば人口は増加する。企業誘致、産業誘致にしても、経済活動がしやすい高砂というようにブランド化するとよい。高砂全体をブランド化するという観点が抜けている。例えば、目標人口を考えたときに、子どもたちと若い働き手をいかに呼んでくるかがポイントになる。高砂に住めばいいんだよというようにブランド化する。このように高砂全体のブランド化ということも少し意識して、プランニングに盛り込めたらよいと思う。</p>

委員	<p>79 ページの地球温暖化対策について、施策の目標として、環境負荷低減に努めるとあるが、施策の方向には具体的な内容が示されていない。高砂市環境計画には水質汚染や空気汚染、P C Bの問題など公害型のものしか載っておらず地球温暖化に対する内容は皆無である。他市町村の環境計画書には、市の業務部門での対応、市民一人あたりの電気代とかエネルギー等の情報を発して、取組み方針が明確に示されているが、高砂市にはそれがない。避けては通れない大きな課題であるので、抽象論ではなく、できる限り具体的な対応策を盛り込む必要がある。現在、具体的な施策計画等も含め、検討が進められているだろうが、全体の概要、せめて骨格だけでも総合計画の計画欄に載せるべきと考える。</p>
事務局	<p>現在、地球温暖化対策実行計画については、22 年度、23 年度の 2 カ年かけて別途計画策定のため、準備している。その中では具体的な取組み内容も示す予定である。ご意見、十分配慮して計画に盛り込みたい。</p>
委員	<p>51 ページの芸術文化について、伝統的、歴史的な郷土芸能や文化財の保護・保存・継承・活用について、高砂の文化をブランド化してはどうか。例えば、高砂を代表する謡曲『高砂』などを義務教育の中に取り入れ、高砂の小中学校卒業生はその一節がしっかりとと言えるようにすると、全国で活躍するようになったときに、高砂がそういう中で認知される。これを 10 年間やると何万人という数になる。非常に夢があっていいのではないかと思うがいかがか。</p>
会長	<p>大変いいご提案である。全員が歌えるようになれば、多分マスメディアで取りあげてくれるだろうし、高砂ブランドの価値は上がる。謡曲甲子園を開催してもいいのではないか。</p>
教育長	<p>教育振興基本計画の施策の取組みの中で、伝統や文化に関する教育の充実の一つとして、謡曲『高砂』を体験活動において計画的、継続的に実施するという形で明記している。</p>
会長	<p>ぜひ力を入れていただきたい。</p>
委員	<p>13 ページ、3. 借入と償還金の推移のところ、地方債は平成 12 年度をピークに減少し、平成 18 年より増加に転じており、公債費の償還額はほぼ増加傾向で推移しているとあるが、なぜ増加かしたのか分からない。歳入の増加と表現するべきか、収入とするべきか。歳入であれば歳入の増加と書いていただきたい。こうした用語は素人には分からない。言葉一つで意味がまったく違ってしまふ。これは債務が増加するのか。増加だけで意味は通じるか。</p>

事務局	地方債は平成 12 年をピークに減少して、平成 18 年度からまた増加に転じている。償還額が年々増加傾向で推移している。
委員	「償還額は、」と入れなければ、単に増加に転じてでは素人にはわからない。何が増加したのか。
会長	主語は地方債（借入額）である。
委員	地方債は平成 12 年度をピークに減少し、平成 18 年度より増加に転じたとあるが、増加に転じた原因は書かれていないため、減ってきたものがなぜ増えるのか素人は不思議に思う。私は、借入が減少したため、歳入が増えたと解釈したが、新たに債務が増えたのなら、そのことを書いてもらわなければ分からない。 一般市民はグラフを見て研究しようなどとは思わない。素人が読んで、分かるように書いてほしい。まったく逆に解釈する人もいる。
事務局	例えば、12 年度をピークに減少してきたが、18 年度からまた増加に転じているという表現の方が分かりやすいということか。
委員	素人の考えでは、借りていた借金を返して、減少したのに、なぜまたそれが増えたかということが理解し難い。だから、例えば、別途の債務が生じたといった原因を書いてくれと言っている。
事務局	市民が読んで分かるような表現を考える。
委員	体裁良く書くのではなく、ありのまま書けばよい。
事務局	承知した。
会長	ほかにもあるだろうから、一度全体的に精査する。 事務局から連絡、報告をいただく。
事務局	<p>4. その他</p> <p>○その他について説明</p> <p>(1) パブリックコメント（市民意見公募手続）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月26日までに意見があれば、本日配布している「ご意見書」により提出してほしい。 ・ 本日の審議会での意見と「ご意見書」の意見をふまえて、基本構想（素案）・

<p>会長</p>	<p>基本計画（素案）をまとめ、3月、4月にパブリックコメントを実施する予定である。（市民とともに計画を策定するというスタンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の部会でパブリックコメントでの意見を報告する。 ・パブリックコメントする最終修正後の基本構想（素案）・基本計画（素案）は事前に審議会委員に送付する。 ・パブリックコメント実施についての細かい内容は小委員会で一任させてもらう。 <p>（2）今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に部会の開催を予定。日時場所については後日連絡 <p>5. 閉 会</p> <p>貴重な意見をたくさんいただいたので、また反映させていきたい。これにて閉会。ありがとうございました。</p>
-----------	---